



各 位

2024年2月9日

上場会社名 古河機械金属株式会社
代表者 代表取締役社長 中戸川 稔
(コード番号 5715 東証プライム市場)
問合せ先責任者 経理部長 田近 強
(TEL 03-6636-9502)

2024年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年11月9日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想値を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年11月9日 発表)	百万円 190,000	百万円 9,700	百万円 10,500	百万円 16,500	円 銭 443.67
今回修正予想(B)	189,300	9,000	10,500	16,500	443.67
増減額(B-A)	△ 700	△ 700	—	—	
増減率(%)	△ 0.4%	△ 7.2%	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	214,190	9,031	9,348	6,211	161.97

2. 連結業績予想の修正の理由

前回（2023年11月9日）発表の業績予想との比較において、売上高および営業利益を下方修正しています。ロックドリル部門では、国内の出荷が堅調で増収増益となる見込みですが、産業機械部門では、マテリアル機械においてプラント工事の遅延等に伴い追加原価が発生したことにより、ユニック部門では、ユニッククレーンの出荷が予想を下回ること、および鋼材など原材料価格の高騰等の影響で原価率が悪化していることにより、減収減益となる見込みで、機械事業全体では、減収減益となる見込みです。金属部門では、第3四半期連結累計期間までの業績を主因として、増収増益となる見込みですが、電子部門では、半導体サイクルの回復の遅れにより、減収減益となる見込みで、素材事業全体では、増収減益となる見込みです。

なお、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表を据え置いています。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上